ISSN 0285-6352

日本語と日本文学

第 14 号

「とはずがたり」の時代と人物 ……河北　騰……(1)

『伏屋の物語』と『住吉物語』……岡崎　和彦……(11)
——明応本の改作をめぐって——

山岸荷葉の一人称小説……早川美由紀……(20)
——子供の視点の発見——

顕現していない格成分の解釈について……高本　條治……(28)
——連文における解釈の場合——

生産物および用具に関する基本語彙の対照……高田　誠…(左 1)

物語文のテクストにおける内容と述語形態
とのかかわり……野村美穂子…(左 16)
——『蜘蛛の糸』を中心に——

平成 3 年 2 月

筑波大学国語国文学会

投稿規定

一、投稿論文は三十枚程度。
一、原稿〆切は毎年度、二月末日および八月末日。
一、原稿送り先
〒305 茨城県つくば市天王台一―一―一
筑波大学　文芸・言語学系事務室内
『日本語と日本文学』編集委員会

投稿案内

昭和六十一年総会で『日本語と日本文学』誌の年二回発行が決まりました。これは創刊当初に計画しました最小発行回数をようやく実現できたものであります。

これに従い、編集委員会では投稿規定を一部改め、二月末日および八月末日の二度締切を設けることにしました。論文の対象分野および枚数三十枚程度は従来通りとします。

なお、投稿原稿は編集委員会の審査を経た上で掲載させていただきます。

学会の顔ともいうべき本誌の一層の充実は、強く願われるところです。学内外を問わず、広く会員の皆様の投稿を仰ぎ、さらなる発展を期したいと思います。

積極的に御協力下さいますようお願い申し上げます。

編集後記

『日本語と日本文学』第十四号をお届けいたします。今回は大先輩からご寄稿いただき巻頭とさせていただきました。若手の卒業生、院生と（中年もくわえて）いろいろな世代にわたったものとなりました。次号以降もどしどしご投稿下さりこの雑誌をさらに生き生きとしたものにしていっていただきたく存じます。

（高田　誠）

平成二年二月十五日印刷
平成二年二月二十日発行　**第14号**
〒305 茨城県つくば市天王台
筑波大学　文芸・言語学系内
編集・発行　筑波大学国語国文学会
代表者　平　岡　敏　夫
発行所　（有）笠　間　書　院
〒101 東京都千代田区猿楽町二―二―五
電話　〇三(三二九五)一三三一
振替口座　東京　一―五六〇〇二